京都あぐり便り
Kyoto Agri Letter

2026.10.23 vol.99



今月の表紙

フジバカマとアサギマダラ

和名の由来は諸説あるらしく、花が藤色を帯びて、花弁の形が袴のようであることから、「藤袴」という名前になったという説もあるそうです。
萩（はぎ）、尾花（おばな＝ススキ）、葛（くず）、撫子（なでしこ）、女郎花（おみなえし）、桔梗（ききょう）と共に秋の七草の一つに数えられています。

台湾や南西諸島から渡って来るアサギマダラという蝶は秋にフジバカマを目指してやって来ます。

TOPIC

★米粉フェス2026 11月28日（土）開催
★11月29日はノウフクの日
★現場だより
　自慢のお米を「衣川の男米」と新ブランド「清雫」の名称で販売
　　ー株式会社ファームきぬがわ（福知山市）ー
　地域の農業を支える担い手へ
　　ー株式会社Ryo（南丹市）ー
★京都府農業の現状（グラフでみる2025センサス）
★～最近の各種統計情報の主な公表について～
★近畿農政局京都府拠点からのお知らせ

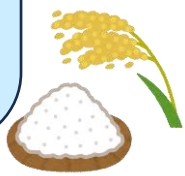
近畿農政局京都府拠点

ご案内



近畿農政局は、お米の可能性を多くの人に知ってもらい、アレルギー対策や食料自給率の向上に資するため、近畿米粉食品普及推進協議会等と連携し、米粉の利用促進に取り組んでいます。このたび、近畿米粉食品普及推進協議会の主催により「米粉フェス2026 ～食べて知って楽しむ、米粉の世界～」が開催されます。





1 開催日時
令和8年11月28日（土曜日）10：05～15：30

2 開催場所
大阪ガス ハグミュージアム 4Fキッチンスタジオ
(大阪府大阪市西区千代崎3丁目南2番59号)

3 開催内容
（1）米粉料理教室(要事前申込・要参加費)
第1部 10：20～12：20
第2部 13：30～15：30
【米粉料理教室は各部先着24名の定員】
（2）フードブース(事前申込不要・入場無料)
11：00～15：30

※(1)の料理教室の事前申込はこちらから。





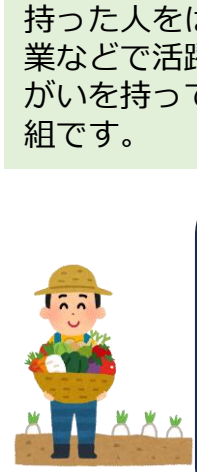






「米粉フェス2026」の詳しい情報はこちらから!





農福連携とは、農業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、農業などで活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取組です。

令和6年6月に「農福連携等推進会議」（議長：内閣官房長官）において決定された「農福連携等推進ビジョンで、11月29日（November（ノウ）29（フク））を新たに「ノウフクの日」と制定することとされました。

全国各地でイベントが開催されます!



11月29日の「**ノウフクの日**」を中心とした、11月1日（日曜日）から12月31日（木曜日）までの期間を「**もっともっとノウフク2026**」として、全国各地で農福連携に関するイベントを開催します。

「もっともっとノウフク2026」の詳しい情報はこちらから!





現場だより



自慢のお米を「衣川の男米」と新ブランド「清雫」の名称で販売
ー株式会社ファームきぬがわ（福知山市）ー

京都府福知山市夜久野町で水稲や黒大豆等を生産・出荷されている株式会社ファームきぬがわの衣川昭徳代表取締役にお話しを伺いました。
（取材：令和８年7月 写真提供 (株)ファームきぬがわ：令和８年9月）



株式会社ファームきぬがわの皆さん

夜久野の地で平成29年2月に法人化

現在の経営面積はハウス12棟を含む15haで、水稲のほか黒大豆、枝豆、野菜等の栽培に取り組まれており、10haの作業受託もされています。法人化のきっかけは、地域での作業受託面積が増えたことから、後継者を育成する環境を整えるためだったそうです。

続きはこちらからご覧ください　→
近畿農政局webサイト
京都府拠点フォトレポート
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/b260701.html

地域の農業を支える担い手へ
ー株式会社Ryo（南丹市）ー



京都府南丹市で水稲の栽培、作業受託、にんにくの栽培などを手掛けられている、株式会社Ryoの代表取締役 西田 良弘さんにお話を伺いました。（取材：令和8年8月）

地域のために、できることはできる限り引き受けたい！

西田さんは、父が亡くなったことをきっかけに専業農家として就農し、平成28年6月に株式会社Ryoを立ち上げました。

現在は水稲とにんにくの栽培を行い、水稲については育苗・田植えから稲刈り、自前のライスセンターでの乾燥・調整、そして販売まで一貫して手掛けています。早生から晩生まで6品種の作付けや直播き栽培にも取り組むことで、作業時期を分散させる工夫をしています。

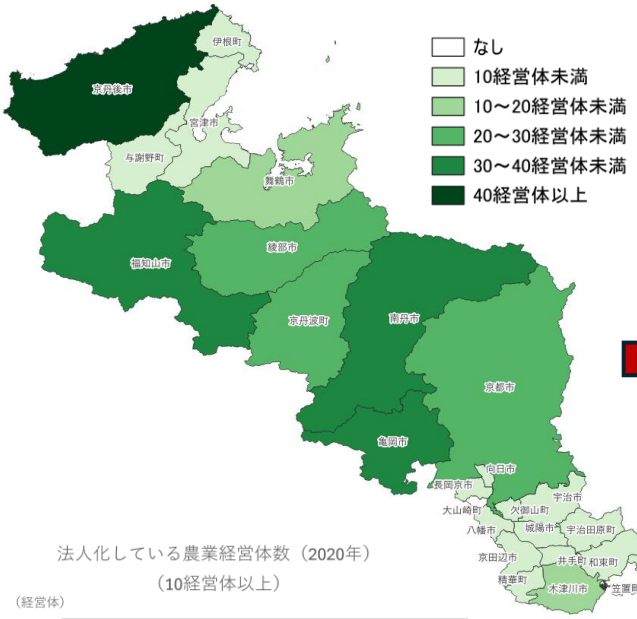
続きはこちらからご覧ください　→
近畿農政局webサイト
京都府拠点フォトレポート
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/a260818.html


代表取締役　西田 良弘さん

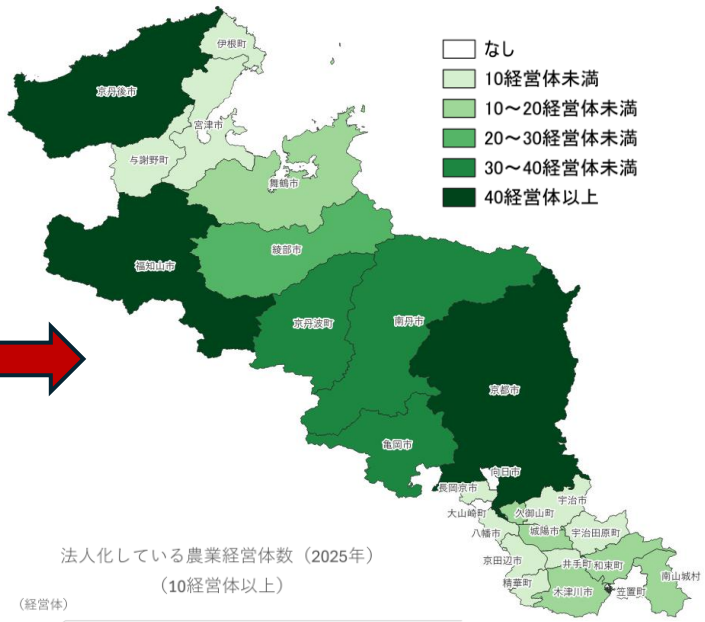
京都府農業の現状（グラフでみる2025センサス）

京都府における法人化している農業経営体数は391経営体で、５年前に比べ58経営体（17.4%）増加しました。京都府内で法人経営体が最も多い市町村（2025年）は京都市44経営体、次いで京丹後市42経営体、福知山市40経営体となっています。

2020年 法人経営体数
333経営体



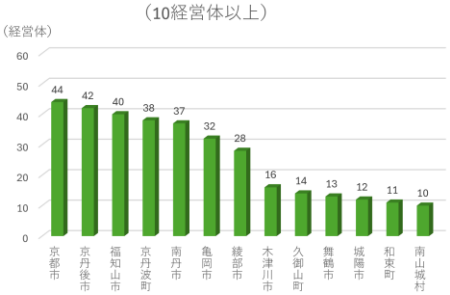
2025年 法人経営体数
391経営体



法人化している農業経営体数（2020年）
（10経営体以上）



法人化している農業経営体数（2025年）
（10経営体以上）



～最近の各種統計情報の主な公表について～

○10月20日 作物統計調査 令和８年茶栽培面積（７月15日現在）
○10月20日 作物統計調査 令和８年耕地面積（７月15日現在）
○10月13日 作物統計調査 令和8年産水稲の作付面積及び9月25日現在の予想収穫量
○10月2日　令和8年度容器包装利用・製造等実態調査結果
○9月30日　令和7年度野生鳥獣資源利用実態調査結果（食肉処理業者）
○9月29日　令和7年産指定野菜（秋冬野菜等）及び指定野菜に準ずる野菜の作付面積、収穫量及び出荷量
○9月29日　令和7年農作物作付（栽培）延べ面積及び耕地利用率

「統計情報」農林水産省ウェブサイト https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html

近畿農政局京都府拠点からのお知らせ

近畿農政局京都府拠点では、メールマガジンを発行し、プレスリリース等の公表、農林水産施策の紹介等を行います。どなたでもご利用いただけますので、ぜひご登録ください。

【ウェブサイトアドレス】
https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/mailmagakyoto.html

お問合せ先：近畿農政局京都府拠点
〒602-8054　京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町　TEL：075-414-9015
【ウェブサイトアドレス】https://www.maff.go.jp/kinki/tiiki/kyoto/index.html